

第4回京大おもろトーク
アートな京大を目指して

ちよつとぐらい

平成28年3月21日(月)祝日 午後2時~4時30分
京都大学百周年時計台記念館2F 国際交流ホール3



ええやないか

今の時代は、人と人のつながりや社会生活において、ルールが人間性よりも先にあるような時代です。人が規則から、はみ出たことをすると、攻撃をするようなちよつと窮屈なところがあります。しかし、心の中では、「ちよつとぐらいええやないか」という気持ちを持っているはず。その中でアートは、なんでもありの世界です。

「ちよつとぐらいええやないか」という言葉をテーマにしてアートで、私たちの時代を風通しを良くして、住みやすい場所にするための方法を考えてみようというテーマです。



公開対談

パネリスト

坂口 恭平 氏
(建築家・作家・アーティスト)

山極 壽一 氏
(京都大学総長・人類学、霊長類学者)

パネリスト

泉 拓良 氏
(京都大学 総合生存学館 特定教授・考古学者)

パネリスト

東田 大志 氏
(京都大学 人間・環境学研究所 博士後期課程学生・パズル博士)

コメンテーター

那須 耕介 氏
(京都大学 人間・環境学研究所 准教授・法哲学者)

司会

土佐 尚子 氏
(京都大学 高等教育研究開発推進センター教授・アーティスト)

長い歴史と文化を持つ京大は、同時に常に最先端の動きを取り入れてきた町でもあります。アートはその伝統とモダンをつなぎ、新しい動きを創る力を持っています。いま京大はアートの発想を取り入れて、新しく生まれ変わろうとしています。京大おもろトークに参加して、その試みを目撃してみませんか？ 第4回目のテーマは、「ちよつとぐらいええやないか」です。

対象：どなたでも参加できます
参加費：無料 定員：100名 (先着順)
お申し込み：request-kyodaiart@media.kyoto-u.ac.jpへ
お名前、ご所属、連絡先 e-mail、電話番号を記入して、申し込んでください。
問い合わせ先：request-kyodaiart@media.kyoto-u.ac.jp
電話 075-753-2005 (平日 午前 10:00 ~ 午後 5:00)

